

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
4 1 6	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b> Risk factor effects and total mortality in older Japanese men in Japan and Hawaii. 危険因子が総死亡に与える影響について・高齢日本人およびハワイ在住の高齢日系人での比較	
<b>執筆者</b> Abbott RD, Ueshima H, Hozawa A, Okamura T, Kadowaki T, Miura K, Okuda N, Nakamura Y, Okayama A, Kita Y, Rodriguez BL, Yano K, Curb JD.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Ann Epidemiol. 2008 Dec;18(12):913-8.	
<b>キーワード</b> 総死亡、日本人、日系ハワイ人、喫煙、高血圧、過剰死亡	
<b>要 旨</b>  <b>目的：</b> 高齢日本人およびハワイ在住の高齢日系人で危険因子が総死亡に与える影響について比較した。	
<b>方法：</b> ベースラインのデータは1980年から1982年に1379名のハワイ在住の日系人男性と日本在住の日本人954名から収集した。年齢は61歳から81歳で、19年間追跡を行った。	
<b>結果：</b> 日本人と比較して日系ハワイ人では糖尿病が2倍あり、4倍の冠動脈過剰死亡を認めた(P<0.0001)。総コレステロールとBMIは日系ハワイ人の方が高値を示した(P<0.0001)。一方で日本人では収縮期血圧が高く、およそ3倍の喫煙率を示した(P<0.0001)。日本人はハワイの日系人の1.4倍の死亡リスクであった(49.4 vs. 36.2/1000人年、P<0.001)。しかし、死亡率は日本人で死亡リスクを上昇させている血圧、喫煙についてのみ調整すると日本人と日系人での死亡率はほぼ同様であった。	
<b>結論：</b> 日系ハワイ人と比較すると喫煙と高血圧が日本人の過剰死亡を説明できた。この遺伝的に類似のコホートによると日本人は日系ハワイ人でのエビデンスは日本人と日系ハワイ人では危険因子の感受性がほぼ同じ程度であることが示唆された。	